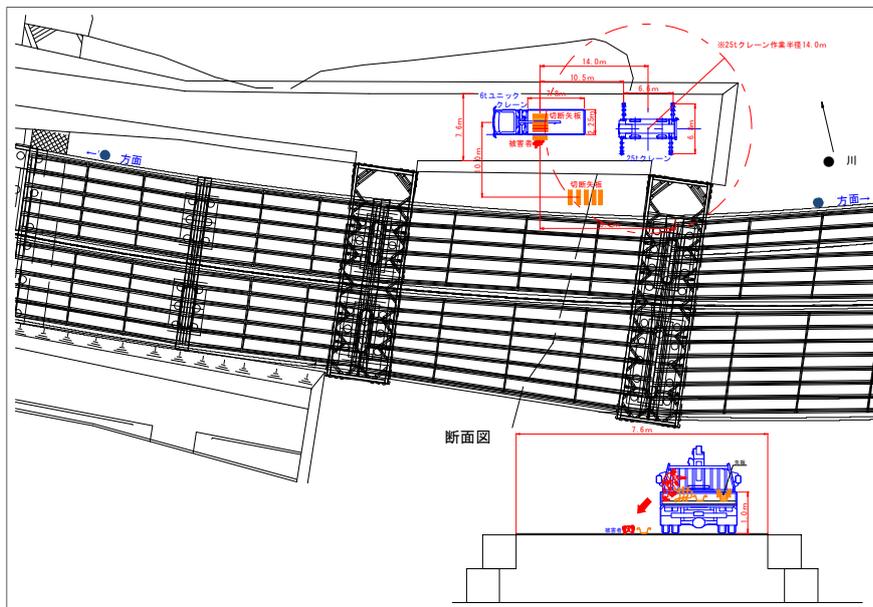


事故種類	労働災害	発生日時	平成27年3月7日 13時54分	事故当事者	チャーター
事故区分	墜落・転落	年齢性別	45歳男性	職種	作業員
被災程度(全治)	右肩関節前方脱臼 右上腕骨骨折 右腿板損傷疑い (全治約3ヶ月)				
事故概要	<p>国道●●号●●付近(下り)の●●橋下部工の耐震補強・補修工事箇所、仮締切工で使用した仮設鋼矢板を25tクレーンでユニック車へ積み込む作業を行っていた。</p> <p>吊荷をユニック車に着地させ、ワイヤーロープを引き抜こうとした際に、りん木にワイヤーロープが引っ掛かったためクレーンを停止させたが、矢板がバランスを崩したため、被災者(ユニック車の運転手兼玉掛者)はとっさに抑えようとしたが、抑えきれず逃げようとしたところ、ユニック車の荷台のアオリ部に足を引っ掛け、ユニック車の荷台から地面に転落し右肩を負傷、その後、矢板1枚が地面に落下し跳ねた際に右足を負傷した。</p>				
事故原因等	<ul style="list-style-type: none"> ・りん木に玉掛ワイヤーの端部が引っ掛かり、荷のバランスがくずれた。 ・二次対策(荷崩れ等)をしていなかった。 ・作業員が荷の倒れる方向に居た。 ・作業時に雨が降っており、足下が滑りやすい状態であった。 				
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・荷下し後の3秒間は、吊荷の安定を確認する。 ・ワイヤーロープは、手で抜く。 ・クレーンの巻き上げ前に、荷台の後方に移動する。 ・ユニック車の荷台に、仮設鋼矢板の転倒防止用架台を設置する。また、最大積み重ね枚数は、継施工の補強板があるため4枚とする。 ・作業時の滑り防止のため、足洗い場を設置する。 				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所管内の主任監督員を経由し工事受注者へ、工事事務の内容、工事事務重点項目の再周知を行い、安全管理の徹底を図った。 				

事故状況図



現場にて鋼矢板の積込作業中にユニックから作業員(運転手兼玉掛者)が転落し、被災した。

改善策



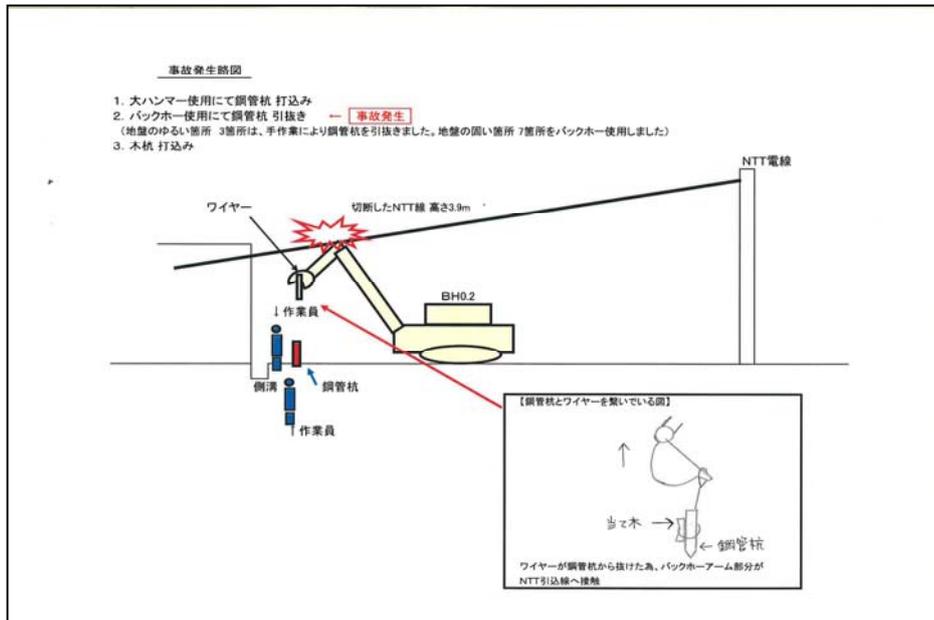
荷下し後の3秒間は吊荷の安定を確認する。
玉掛けワイヤーは人力にて引抜く。



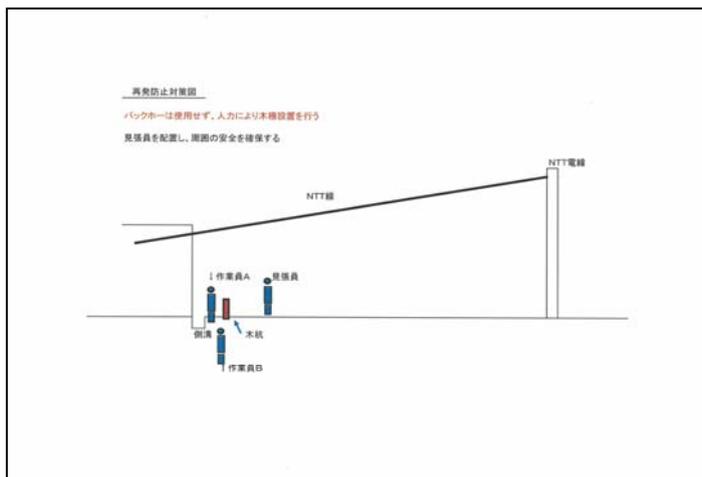
切断鋼矢板の運搬を行うユニック車の荷台に架台を設置し、鋼矢板の最大積み重ね枚数の上限は、継施工の補強板があるため4枚とする事で転倒防止対策を行う。

事故種類	公衆災害	発生日時	平成27年3月11日 11時50分	事故当事者	1次下請け
事故区分	切断	年齢性別		職種	
被災程度(全治)	一般家庭宅 家庭用NTT引込線				
事故概要	木柵新設の為、木柵設置位置へスコップで30cm穴を掘り、鋼管杭を大ハンマーにて打ち込み、地面に型穴をあけ、木杭を打ち込んでいた。 鋼管杭にワイヤーを取付、地面から引き抜く時に、BH0. 2のアームがNTT線に接触し切断した。影響家屋は個人(●●邸自宅)の1戸のみである。(3時間50分不通)				
事故原因等	施工計画書には、木造宿舍解体に関する内容は記載されていたが、木柵新設に関する内容が記載されていなかった。また、元請けからの作業指示書により木柵新設の作業指示がなされているが、具体的な作業内容(手順)の記述が不足していた。作業内容は、木杭打ち込み用の鋼管杭を大ハンマーを使用して打ち込み、BH0. 2により引き抜きを行う。その後、鋼管杭の引き抜き場所に、木杭を大ハンマーを使用して打ち込む。BH0. 2で鋼管杭を引き抜く時に3. 9m上空を通っている架空線(NTT引込線)にアームが接触し切断してしまった。				
改善策等	①施工計画書(木柵に関する部分)を作成し、安全訓練の実施後に工事を再開する。 ②バックホウの使用は取り止め、人力により木柵を設置する。				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	①作業前の危険予知活動の徹底。②新規入場者への作業教育の徹底。 ③見張員を配置して、周囲の安全を確保する。④事前調査をして架空線がある場合は目印旗をとりつける。				

事故状況図



改善策



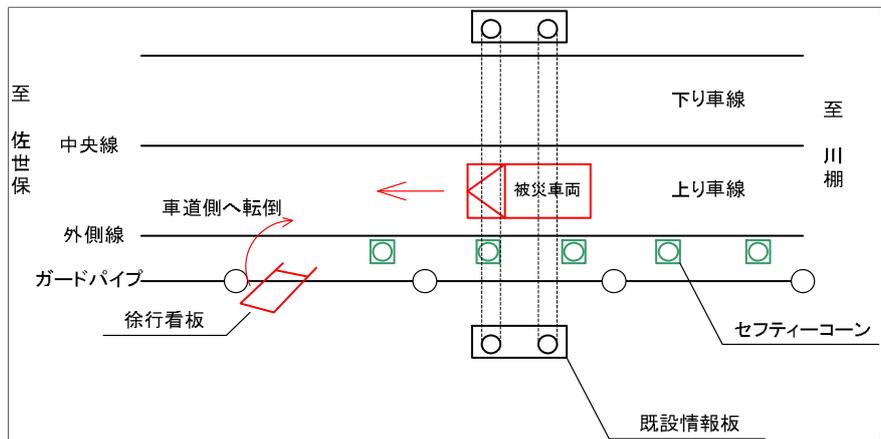
バックホウは使用せず、人力により木柵設置を行う。
見張り員を配置し、周囲の安全を確保する。



見張員を配置して、周囲の安全を確保する。
事前調査をして架空線がある場合は目印旗をとりつける。

事故種類	公衆災害	発生日時	平成27年3月2日 9時50分	事故当事者	一般人
事故区分	その他	年齢性別	70歳、女性	職種	一般人
被災程度(全治)	軽自動車のヘッドライト部及びドアの損傷				
事故概要	路肩規制を行う作業の途中で、ガードレールに車道側から立てかけていた1枚の工事看板が風の影響で車道部へ倒れ、被災者の運転する軽自動車に接触し、ヘッドライト部及びドアを損傷した。				
事故原因等	・路肩規制の工事看板を車道側に立て掛けて仮置きしたため、不安定な状態で風の影響を受けて通行車両に倒れた。				
改善策等	・元請け職員による規制材の設置作業に関して手順書遵守の徹底を指導する。 ・規制材チェックリストの仮置場運搬の項目に「立てかけ厳禁」を追加し、確認を徹底する。				
類似工事(他工事)へ活用できる対策等	・同上「改善案等」による。				

事故状況図



改善策

規制材設置作業チェックリスト

作業実施者: _____ 作業日: _____
 作業区: _____ 作業内容: _____

作業開始時刻: _____ 作業終了時刻: _____

※規制材設置作業チェック項目※

区分	点検項目	確認
規制材の事前確認	設置場所及び設置場所の状況確認	
規制材の搬入	天候(風、雨)の状況	
規制材の搬出	規制材の形状、距離の異状の有無	
規制材の点検	本規制材に歪み、破損、変形なし。	
	設置場所が倒れていないか	
	作業時に倒壊しないか	
設置作業の確認	設置場所が十分な高さがあるか(安全確保の妨げにならないか)	
	安定した平らな場所に置くか(凹凸がある場合は「立てかけ厳禁」)	
	運搬時は車道、歩行者への規制に注意(危険回避)	
	規制材はしっかりと倒れて設置したか	
規制材の撤去の確認	作業終了後撤去し、しっかりと撤去したか	
	作業終了後撤去したか	
	撤去した場所が倒壊しないか	
撤去作業の確認	撤去した場所が倒壊しないか	
	撤去した場所が倒壊しないか	

「立てかけ厳禁」を追加

「規制材チェックリストの項目に「立てかけ厳禁」を追加